

2021年9月15日

報道関係者各位



「顔認証システム」を全建設現場で導入、252時間/年の労働時間削減 現場担当者の業務効率化を実現

大東建託グループの大東建設株式会社(本社:東京都北区、代表取締役社長:下徳真也)は、セーフイー株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役社長CEO:佐渡島隆平)が開発した顔認証システム「Safie Entrance(セーフイーエントランス)」を2019年に全ての建設現場に導入しました。これにより、1年間で現場担当者1人あたり252時間の労働時間が削減され、業務効率化につながりました。

大東建設は、業務効率化を通じた安全管理・品質管理の強化により、お客様の信頼に応える高品質で安全性の高い施工を実現します。



現場入場時、顔認証により登録された技能労働者「本人であるか」を瞬時に判断。さらに、「安全関係書類に不備がないか」も判断。



顔認証により、労務安全関係書類に問題がない場合はモニターに「○印」が表示され入場可能。問題がある場合は「×印」が表示され入場不可となり、書類の整備完了によって入場が可能。

■ 顔認証システム導入の背景と効果

従来、現場担当者は技能労働者の現場入場記録や、入場に必要安全関係書類の確認などに1日あたり約1時間を要していました。大東建設では工事担当者の業務効率化を目的として、2019年に顔認証システムを導入したところ、現場に入場する技能労働者の本人確認や事前登録情報(雇用関係、健康診断・資格・保険加入状況など)の確認を自動的に実施することが可能になりました。また、事前登録情報に不備がある技能労働者は顔認証システムで「×判定」となり、現場に入場することができなくなります。これまで現場担当者が毎日行っていた書類確認業務が不要となることで、1人あたり年間で252時間の労働時間削減につながりました。さらに、「どの現場に」「どの技能労働者が」「いつ入場したか」を確認でき、災害リスクが高いとされる高齢・有疾患の技能労働者に対する注意喚起や安全指導の強化が可能となります。

■ 大東建設 代表取締役社長 下徳真也コメント

今回のように、建設現場における災害リスク低減を追求するにあたり、デジタル技術を活用した技術水準の高い施工管理を目指します。本システムを活用することで、現場管理の効率化に繋がることも期待しています。

■ 大東建設株式会社 会社概要

社名 : 大東建設株式会社
代表者 : 代表取締役社長 下徳真也
所在地 : 東京都北区赤羽2-51-3 NS3ビル7F
事業内容 : 首都圏を中心としたマンション等の建築
資本金 : 400百万円
設立年月日 : 1999年7月

■ セーフイー株式会社 会社概要

社名 : セーフイー株式会社
代表者 : 代表取締役社長CEO 佐渡島隆平
所在地 : 東京都品川区西五反田1-5-1 A-PLACE五反田駅前
事業内容 : クラウド録画・映像管理プラットフォーム『Safie(セーフイー)』の運営
資本金 : 100百万円
設立年月日 : 2014年10月